して書かせ、解き方を式で表したり、文章で書いたり、図で示したりする活動がこの段階です。このひとり学びでの解決の過程では自分の考えの根拠を明らかにし、筋道立てた考え方をすすめていくようにするための大切な場面としておさえて、順序立てて記録するように指導しました。書く活動によって、思考がはっきりしてくるとよくいわれていますが、そういう意味からも大切な活動だと考えます。

ーねり合う段階ー

ここでは、個人思考の段階で確立した解決方法を出し合いねり合うことが中心となります。友だちのいろいろな考え方に接することによって自分の考えを深めたり、確かなものにしていくための活動としておさえます。

したがって、自分の考えの誤りに気づき、新たな考えを書き加えたり、友だちのよい考えを写し取ったりといった書く活動が考えられます。

(3) 問題（課題）解決の段階

最後に「まとめ」をするわけですが、本時の解決の過程をもう一度ふり返り、解決方法を確かなものにし、みんなで解決したことを、話し合いながら「まとめ」をし、ノートに書かせます。そして、ひとりひとりの子どもに今日の授業の感想を自分の言葉でまとめます。

例えば、

- 学習でわからなかったことがわかったこと
- 友だちの考えのよさに気づいたこと
- 自分の考えたことが、よかったことやおもしろかったこと　　等

時間に余裕があれば、今日の授業の感想をノートを見ながら、２～３人に発表してもらいます。

(4) 教師の評価

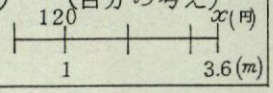
本時の授業で、自分の意見を進んで発表した子には、誤答等でも金シールをあげたり、よりよい考えを発表した子には、ホームランシールをあげたり等して、次時への意欲化へとつなげていきました。さらに１週間毎に１グループずつノートの点検をし、自分なりの工夫したノートづくりをするように働きかけたり、子どもたちの考えの変容を見ていくことにしています。

4. 実　践　例

ノート例①　５年小数のかけ算

問題Ⅱ　１ｍのねだんが120円のテープがあります。このテープ3.6ｍの代金はいくらですか。

（線図）（自分の考え）



（式）3.6×120×
120×3.60

課題　（整数）×（小数）の計算方法を考えよう！　＜斉藤さん＞

（自分の考え）

（式）120×3.6＝432
A) 432円

120
× 3.6×10
720
360
432.0　1/10

①（東君）

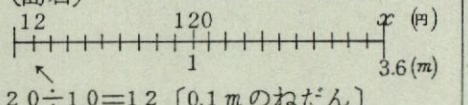
120
× 3.6×10
720
360
432.0　1/10

3.6×10＝36
120×36＝4320
4320÷10＝432

（皆川君）１つの式
120×(3.6×10)÷10
＝120×36÷10
A) 432円

３６ｍとして考えてから3.6ｍを求める。

②（島君）



120÷10＝12〔0.1ｍのねだん〕
12×36＝432

120÷10×36
0.1ｍのねだん
A) 432

まとめ　この計算も、小数を整数にもどして計算し、その答えをもとどした分だけもとにもどすとよい。

感想　◦島君の考えはすごくむずかしいと思ったけど、式などに表して意味を考えるとわかった。

練　①　85
×2.4×10
340
170
204.0　1/10

②　90
×4.2×10
180
360
378.0　1/10

③　150
×5.4×10
600
750
810.0　1/10

④　80
×1.8×10
640
80
144.0　1/10

120×3.6
①　120×36÷10（3.6ｍを36ｍとして考え、その1/10
②　120÷10×36（0.1ｍのねだんを考えそれが36ある